第25回 総会テーマ　一年に一回は顔を合わせよう!!

7月8日(土) 日本海運倶楽部で

1．今回の特徴：会費を6,000円（従来は8,000円）に、大幅値下げしましたので、同期の会員を誘いあって、ぜひご出席下さい。

2．イベント

(1) 卒業生歌手　佐藤由紀子さんによる「シャンソン」。　S.46年(第78回)卒

(2) 卒業年次別テーブルで、地酒も準備。

3．年会費(1口=1,000円以上)のおねがい。
会報代、通信費、会場費として、必要ですので万一、欠席の方も、ぜひ1口以上お振込み下さい。

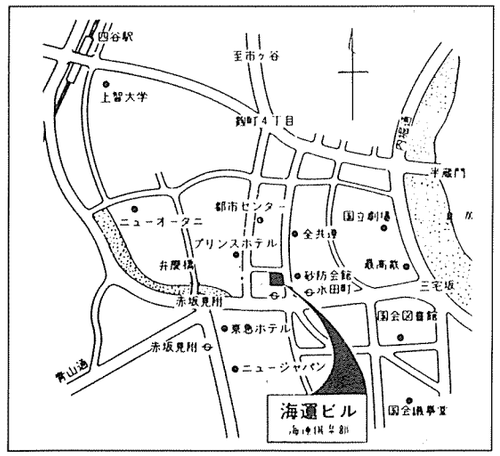
鶴翔

題字は初代会長 故田倉八郎氏筆

第 25 号
発行所　東京鶴翔同窓会
東京都千代田区内神田2-16-9(〒101)
荘内銀行
東京支店内
TEL 03-3256-8911

故郷と手を結ぶ
印刷所
株式会社　一芳タイプ
代表取締役　長谷川勝一(59回)
新宿区筑土八幡町4－24
第一芳栄ビル
TEL 03－3235－2691(代)

第25回 東京鶴翔同窓会のご案内



■日時　平成7年7月8日(土)
14：00～16：30（受付開始13：20）

■場所　日本海運倶楽部二階大広間
（千代田区平河町2-6-4 海運ビル）
電話 03 (3264) 1825

地下鉄
(有楽町線、半蔵門線)永田町駅1分
(銀座線、丸の内線)赤坂見附駅5分

■会費　6,000円（他に年会費1,000円以上）

昨年度の総会の楽屋裏

昨年、3月東京鶴翔同窓会の幹事会が開催された時期は、「平成米騒動」の余波が色濃く残っていた。幹事当番6の卒業回は、若手に在京者が少なく、66回が先頭にたって走り回るのが恒例となっている。66回はクラス単位の結束が良く、これを中心軸に、役割を分担していった。また、76回の星野君には、前回同様活躍していただいた。

そして、2回目の幹事会でテーマ「米……ふるさと庄内に感謝する一日」が決まった。役割は広告、総会、会報、会計とし、総括は三矢君になった。当日のイベントは幹事会のアイデアをすべて実施した。庄内米の紹介パネル、来賓酒井会長撮影「庄内農作業景」鶴岡江戸屋敷パネルが展示され、物産の販売・庄内紹介ビデオが流された。

東京会館のフランス料理であったが、コーナーには、庄内米のおにぎりが用意された。これは、板垣君が取り仕切ってくれた。舞台では、川住さんと迎田君の司会でプロ歌手とのカラオケデュト、吉続さんのスペイン舞踊、抽選会、記念撮影と進行した。

鏡開きした四斗樽は247名の参会者によって、飲み干された。（Y生記）

SOCIAL PLAZA
Grand el Sun
ソーシャルプラザ
グランドエル・サン
山形県鶴岡市東原町17番7号
TEL 0235-24-4633
FAX 0235-25-2522

住所変更、転入出の連絡は、ぜひ同期の幹事へ!!

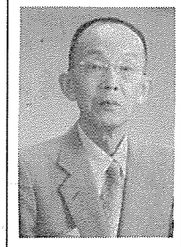
東京鶴翔同窓会　幹事名簿

平成7年4月1日

会長	副会長	副会長(兼常任幹事)	副会長(兼常任幹事)	常任幹事	常任幹事	常任幹事	常任幹事兼事務局長	事務局次長	幹事	佐藤忠一	鈴木弘二	竹内淑郎	工藤康雄	菱谷清(兼)	宮崎富哉(兼)	桜田幸一	斎藤弘義	菅原隆輔	叶野七郎	成田辰巳	佐藤良三	植木清哉	菅原良雄	梅津迪子
田中保治郎	阿宗淳介	加藤次徹	桜井文子	菱谷清	宮崎富哉	松本直明	中村信雄	原田敏美	野崎季義	富樫常夫	鈴木弘二	竹内淑郎	工藤康雄	菱谷清(兼)	宮崎富哉(兼)	桜田幸一	斎藤弘義	菅原隆輔	叶野七郎	成田辰巳	佐藤良三	植木清哉	菅原良雄	梅津迪子
(42)	(43)	(62)	(63)	(47)	(48)	(59)	(51)	(80)	41回	42回	43回	44回	45回	46回	47回	48回	49回	50回	51回	52回	53(前期)	53(後期)	54回	55(56)

幹事																								
本間章介	真島淳介	笹原徹	菊地俊哉	長谷川佳則	菊地晴子	菊地仙治	奥田文夫	小野寺洋	小花吉彦	加藤有紘	三矢正士・安野正紀	渋谷昶明	渡部洋	(選考中)	地主忠夫	山田悟	安達昌夫	高島正平	坂本誠	鈴木伸夫	星野茂	村田敏	阿部一彦	林憲治	原田敏美	王金城
58回	59回	60回	60回	61回	61回	61回	62回	63回	64回	65回	66回	67回	68回	69回	70回	71回	72回	73回	74回	75回	76回	77回	78回	79回	80回	81回

卒業六十年の思い



鶴翔同窓会会長
酒井忠明

今年は暖冬多雪の冬ということで、寒さは大したことがなかったが寒中毎日の如く雪、積っては消え消えては又積る雪の冬だった。去る三月一日恒例の卒業式だったが、学校の駐車場にはまだ山のように雪が残っていた。卒業式にこんなに雪の残っているのは近年珍しいことだ。

今年も二百数十名の卒業生を送った。鶴翔会館での卒業式はこれで四回目。暖房設備を省略した会館だが寒くはない。生徒諸君終始キチッとして誠に立派である。卒業と同時に鶴翔同窓会に入会となるが、卒業して当分は大学の勉強などで同期会に縁が遠い。南高では毎年卒業二十周年で記念の同期会を催している。卒業して二十年というと男も女も社会人家庭人として働き盛りの年である。同窓会と縁が深くなるのはこの年以降、年とともに同期会も盛んになる。今年のテーマは「一年に一回は顔を会わせよう」で私どもは卒業六十周年、お互年齢だもの年に一度位は顔を会わせようや…と、毎年の如く同期会を催している。勿論六十年の今年も…。恩師の先生は御二人しか居られなくなった。我々自体八十近いのだから。元気に同期会に出て来られるのは二十人位。学生時代の気分にかえってのおつきあいである。学生時代ガキ大将的存在の人は、八十近くなってもその風格が残っている。同期会は誠に楽しい。

我々の頃の校舎は木造のおんぼろ校舎で生徒の中に修理班と称する五、六人のグループがあって、大工道具をさげて校舎内を見廻り、床板の抜けたところ板戸の破れなどブッつけ大工。冬などストーブの燃えが悪いと戸棚の天井板をはいで燃したりした。当時の校長は針生忠一先生ピンとひげをはやし謹厳実直、笑い顔など見たことなかった。この校長が教壇に立てば生徒は自らシ(オシッカ)ュンとした。思い出はつきない。

私も鶴翔同窓会長となって、もう十五年にもなる。もうそろ〳〵退き時と心得ているが。今年も七月八日東京鶴翔会のよし、楽しみにしている。毎年二百人余の多くの会員の御出席、その会に出ても我々はいつの間にかずっと上の方の年輩になってしまった。

東京鶴翔会の益々の御発展を祈る。

第24回(平成六年)総会出席者一覧

ご来賓

酒井 忠明	41回	野崎 季義	
佐藤 多市		山本 甚作	
荻生 万寿子	42回	伊藤啓五郎	
高橋 三和子		佐藤 毅	
山田 南海子		田中 浩	
柴田 貢		若木 次郎	
米山 昌士		藤原 宗雄	
内山 啓司		高橋 敬道	
大川 龍太郎	43回	天池 貞士	
丸藤 晋		五十嵐 忠	
倉田 正		佐藤八一郎	
三田村 欣信		水野 重広	
鈴木 壽和		三井 広弥	
村田 久忠		原田 良次	
板垣 隆一	44回	鈴木 弘二	
秋葉 敏郎	45回	茨木 廣	
金井 一雄	46回	工藤 康雄	
青柳 恵一	47回	鈴木 重臣	
中村梧郎先生		高木 正雄	
(敬称略・順不同)		菱谷 清	
		平田 秀雄	
出席者	48回	阿部 玄	
海老名敬士	33回	宮崎 富哉	
遠藤 匡輔		宮村 巌	
中川 重男		山科 勝男	
斉藤 求	34回	渡会 春雄	
広木 護郎	35回	田中武次郎	
海老名五郎	36回	櫻田 幸一	49回
水口武三郎	39回	大澤 榮造	50回
板垣 正作	40回		

斉藤 茂雄	40回	小沼 博	50回
		真田 秀春	
		菅原 藤夫	
		斎藤 正	51回
		高木 有	
		旅河 正美	
		中村 信雄	
		船見 繁雄	
		松村 謙二	
		斎藤 平	52回
		菅原 隆輔	
		土岐 良次	
		堀井 四郎	
		中村 賢衛	
		三矢 正且	
		阿部 靱男	53回
		五十嵐藤一	
		叶野 七郎	
		斉藤 吉郎	
		旅河 伸介	
		富樫 俊彦	
		富樫 義雄	
		成田 辰美	
		菱谷 岩雄	
		平野 成士	
		山本 昌美	
		櫻井 守雄	54回
		渋谷 松生	
		長谷川久一	

松村 正	54回	菊地 仙治	61回
三浦 昭			
渡部 敏雄		本間 達	63回
富樫 泰教		榎本 孝	64回
植木 清哉	55回	兼子	
和田 晶		工藤	57回
菅原 良雄	57回	小谷野節	
鈴木 雄三		小花 吉彦	
細井 地久		今野 清	
本間 章介		佐藤 隆二	
渡部 瑞夫		関谷 路子	
板垣 省吾	58回	森 弘	
梅津 迪子		三浦 計治	
奥田 隆男		友澤満里子	
窪田 勝		阿部 文治	65回
笹原 恒弥		飯田 榎子	
佐藤 誠		大沼 宏	
諏訪 満		加藤 有紘	
匹田 誠		澤井 俊弥	
本間 章介		渡部 明	
長谷川勝一	59回	秋野 祐三	66回
本間勢三郎		足達 哲郎	
松本 直明		板垣 正明	
菊地 俊哉	60回	大川 政紀	
今野智枝子		小野寺 裕	
斉藤 文夫		粕谷 英樹	
白幡 義博		門脇 厚司	67回
野澤 良治		金井 功弼	
早坂 勤		川住 素子	
仁藤 輝夫		木村 宏嗣	68回
茂木 勲		後平 辰美	
五十嵐宏夫	61回	今野 悦郎	69回
池田 初子		斎藤 巌	
		佐藤 捷実	

和田 英光	69回	佐藤 隆介	66回
尾形 文子	70回	佐藤 誠	
上林 治		志藤 達美	
寒河江孝允		嶋田美恵子	
地主 忠夫		菅原 義雄	
土岐 寛		忠鉢 元	
中村 浩		中嶋 茂	
芳賀 俊郎		中野 正晴	
富田 チエ	73回	野口 紀雄	
平山 静夫		本間 文祐	
渡部 逸郎		水口 武二	
渡部 藤雄		三矢 正士	
島川 武	75回	村田 良	
石向 隆		百瀬 義広	
佐藤 誠		藪田 剛由	
鈴木 信夫		安野 正紀	
丸山 孝明		山本 和子	76回
小林 紀雄		吉続 照代	
星野 茂		鷲田 誠治	77回
梅津 準士		渡部 和夫	
村田 敏		渡部 一矢	
原田 敏美	80回	渡辺 宗助	
今井 洋一	85回	加賀山忠男	
大泉 正		佐藤 堅一	
佐藤 正		渋谷 昶明	
清水 守		富樫 秀	
鈴木 康夫		冠木 敦子	
土田 康夫		渡部 洋	
富樫 森		齋藤 英士	69回
難波 電		白幡 智	
奥泉 久人	89回	本間 敏英	

祝　第25回　東京鶴翔同窓会

笑顔にアクセス　未来がどんどん近くなる。
ご一緒に咲かせたい未来があります。
まごころを大切に——
荘内銀行

しあわせ、まいにち。
山形しあわせ銀行
しあわせの鳥 ブルーミーと森の仲間たち

21世紀を見つめて——
荘内交通
SHOKO
取締役社長　本山　彌（昭和27年卒）
本社 山形県鶴岡市錦町2-68　鶴岡SSビル内　TEL (0235)22-2600
東京案内所/東京都港区浜松町2-4-1　世界貿易センタービル　TEL (03)3435-6008

郷土庄内のニュースを満載!
庄内唯一の日刊紙　荘内日報
本　社／〒997 山形県鶴岡市馬場町8-29　☎(0235)22-1480(代)
東京支局／〒272 千葉県市川市大野町1-383-10　☎(0473)37-6568

いつも もっと おいしい日本酒へと
日本酒 栄光冨士
冨士酒造株式会社　997-11 山形県鶴岡市大山三丁目32-48
代表取締役　加藤有倫（62回）　TEL 0235(33)3200・FAX(33)0477

母校近況報告

学校長
佐藤 孜市

東京鶴翔同窓会の皆様からは、母校に対し、いつもご支援・ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

今年は年明け早々から阪神大震災。今度は東京のど真ん中でサリン騒ぎ。天災はともかく、サリンはいかなる理由があれ、許されない行為です。安心して暮らせるよう、一刻も早く解決してほしいと思います。

さて、今年は「一年に一回は顔を合わせよう」のテーマのもとに、旧交を温め合うとのことですが、その際の話題として、母校の近況を報告します。

隣の鶴工が甲子園に行ったこともあり、昨年はどこの同窓会支部の総会でも、話題は母校の甲子園出場のことでした。山形支部でも佐藤支部長が冒頭の挨拶で、地域経済活性化の意味からも、出場の必要性を力説されました。選手は鶴工にできることは自分たちにもできると、寒い冬にも元気な声を張り上げ、連日練習に励み、春休みには関東遠征も行い、力を付けています。

昨年八月から、県下の進学校としては初めて、若いアメリカ人女性が外国語指導助手として本校に配属されました。職員にもすっかり溶け込み、忘年会にも一緒に参加しています。国際化の波が本校までも押し寄せてきたとの感がします。生徒の英語熱も高まり、校内で英語弁論大会を開催したほどです。彼女も生徒が優秀で、すっかり本校が気にいったようで、本校であれば来年も滞在したいと言っています。

昨年、本校第十五代校長笹原儀三郎先生が九十三才のご高齢で逝去されました。先生は、晩年、不自由なお身体でしたが、奥様を連れ立って、毎年、創立記念日には必ず出席されるほど、母校に限りない愛着を持っておられました。ご遺族から香典返しとして、百万円の寄贈があり、検討の結果、笹原文庫を設置することにしました。古今東西の名著を原書で揃える予定です。

また、平田正氏からは、酒井忠明氏揮毫の笹原校長の詩「ふるさとへ」の額の寄贈の申し出を受けています。

最後に、卒業生自身の作品（書籍、絵画等）また卒業生に関する著書等の資料を同窓会の協力を得て収集し、保存・展示を企画しています。ご協力をお願いします。

祝　第25回　東京鶴翔同窓会

山形が誇る 米と酒
酒田市　酒王 初孫
東北銘醸株式会社
TEL TEL：0234(31)1515 FAX：0234(31)5588

庄内米
はえぬきふどまんなか
JA庄内経済連
東京事務所
〒101 東京都千代田区神田三丁目５番５号大周ビル401号室
TEL 03-3254-1456 FAX 03-3254-1457

水門・橋梁 設計製作
株式会社 興和製作所
〒997 鶴岡市本町三丁目６番33号 TEL (0235)22-6363(代)
FAX (0235)22-6365

太田歯科診療所
太田　登 (51回)
東田川郡余目町上朝丸161－8

山形県 鶴岡市大字下川 善寶寺
住職　斎藤信義（昭12卒）
TEL 鶴岡（0235）33-3303（代表）

○税金の相談と申告
○資金と経営の相談
福井　博税理士事務所
税理士　福井　博（昭和29年）
事務所　〒170 東京都豊島区東池袋１－36－３－502
電話(03)3983－5006(代)・FAX(03)3971－1987
自　宅　〒171 東京都豊島区池袋２－32－19
電話(03)3986－5509

江戸屋敷かわら版

鶴岡市東京事務所は、開設以来満五年になりますが、首都圏に在住する方々とふるさととの架け橋として、様々な事業を行ってまいりました。

中でも特徴的なのは、江戸川区が友好都市であることから「地域密着型」を進めている点です。観光ＰＲや特産品の販売をはじめ、郷土料理紹介、民芸品づくり教室の開催、区民への会議室提供、さらには両市区の企業間交流など、常に江戸川という地域を視点に入れ、より細かな独自のＰＲ活動、情報収集に努めております。

今年二月に開催した「鶴岡冬だより～雪と味覚と文化を丸ごと首都圏に～」は、大好評で会場は二万三千人の人で賑わいました。この事業には東京鶴翔同窓会の皆様からも多大なご尽力をいただきましたことを、御礼申し上げます。

（所長　板垣隆一）

平成６年度東京鶴翔同窓会収支決算書

（平成６年１月１日～12月31日）

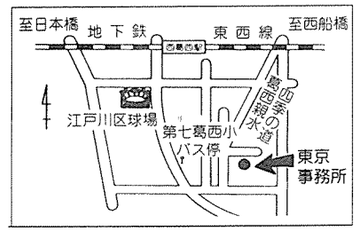
①一般会計

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期より繰越	1,173,565	総会費	2,918,922
		事務費	978,576
総会費	1,592,000	（印刷費）	508,557
		（通信費）	470,019
年会費	733,000	会議費	298,555
		広告費	21,012
広告費	1,889,600	その他	755,251
		定期預金(特別会計へ繰入)	600,000
雑収入等	219,061	（祝金）	70,000
（祝金等）	210,000	（その他）	85,251
（預金利息）	9,061	次期繰越金	634,910
	5,607,226		5,607,226

②特別会計

収入の部		支出の部	
前期より繰越	2,207,565	普通預金	69,080
定期預金	669,080	次期繰越金	2,832,166
定期預金利息	24,476	（定期預金）	2,832,166
普通預金利息	125	（普通預金）	0
	2,901,246		2,901,246

鶴岡市東京事務所
東京都江戸川区西葛西7-28-7
☎ 03-5696-6821



地下鉄東西線「西葛西駅」下車。徒歩10分、または同駅から都営バス（なぎさニュータウン行、葛西臨海公園駅行、臨海車庫行）乗車、「第七葛西小学校」下車、徒歩５分。
どうぞお立ち寄りください。

祝　第25回　東京鶴翔同窓会

かけがえのない水
英知と技術でリサイクル
東北環境開発株式会社
取締役社長　木村有為
専務取締役　泉川智子
本社／鶴岡市字下清水字打越2-1 ☎(0235)24-3110(代)

ふるさとへの近道
鶴岡市東京事務所
〒134 東京都江戸川区西葛西7－28－7
TEL 03-5696-6821
FAX 03-5696-6822
鶴岡江戸屋敷
（地下鉄東西線「西葛西駅」下車、徒歩10分）

朝明けは紫に映え、夕日には黄金に輝き、そのすそを日本海にひたす出羽富士鳥海山を想い起して!!
湯野浜温泉
竹屋ホテル
佐藤　擴（47回卒）
鶴岡市湯野浜１－９－25
TEL 0235(75)2031　FAX 0235(75)2040

株式会社 アイピーエス
〒151 東京都渋谷区上原3-25-9 ☎03-3469-8211(代)
代表取締役　小花吉彦（64回卒）

ORIENTAL MOTOR®
「共に未来へ　共に世界へ」
オリエンタルモーター株式会社
鶴岡オフィス/鶴岡中央事業所/鶴岡制御モーター事業所
山形県鶴岡市宝田１－13－30
☎（0235）24－1191
鶴岡東事業所
山形県鶴岡市宝田３－４－10
☎（0235）25－2511

高島産業株式会社
庄内工場
代表取締役専務　後藤俊夫（48回卒）
山形県東田川郡楯引町大字下山添字庄南39
TEL　0235－57－4212（代）
本社　東京都文京区大塚５丁目22番10号
TEL　03－3943－2751（代）

日頃思うこと

東京鶴翔同窓会会長
田中浩

会員の皆様益々御清祥のことと存じます。今年のテーマは「一年に一回は顔を合わせよう」です。同窓会で一年振りにお合いすることはお互の健康を確かめ合い喜び合うと同時に故郷に、そして母校に思いを馳せる良い機会であろうかと存じます。

故郷のことで目についたことの一つは「正論」三月号に載っておりました文化人類学者山口教授の記事でした。同氏が銀座の王子製紙本社ビルの中にある音楽ホールでモスクワシアターオペラ「ロストフの聖誕劇」を観劇された際の感激について述べて居られますが、その最後のくだりに「山形県の黒森歌舞伎のように演目の選定を自ら行ない、舞台を毎年建て直し自ら舞台に立つ民俗演劇の経験と銀座の真ん中にある劇場で起ったことの間には通底するものがあることを知った」と述べられてます。もう一つはアサヒグラフ二月十七日号に黒川能の特集として五百年の伝統を持つ郷土文化ということで十五頁にわたり写真入りで詳しく紹介しております。

さて今年は戦後五十年ということで我々大正生れの者にとって終戦は遠い昔の思い出となります。年初に有識者の話として今年の政界もまた混乱の一年になりそうだというのがありました。昨年もその通りの混迷状態が続いたわけですから今年も尚先行不透明ということで暗い気持から抜け出せない思いが致しました。年頭のテレビ対談でON対談があり、カンピューターと云はれた長嶋氏の言として何をやるかではなく、いつやるかが大事なんだという話がありました。国家のことにも通じることかなと思っておりましたところ、一月十七日突如としてかの阪神大震災が発生しました。そして国には何をやるかもいつやるかも無かったことがはっきりしたことから日本人にとって本当に大事なものは何であったかを知らせてくれたとか又いつの間にか日本は大変なことになって居たことを知らされた。人にやさしい政治どころか安心して住めない国になっていたという厳しい言葉さえ見られました。国の危機管理をタブー視することなく国民みんなが真剣に考えるべきと感じましたが如何でしょうか。

「庄内の自然との共生」

村田敏（第77回卒）

母校を卒業してから二五年経ちました。在鶴時代の懐かしい思い出と私の仕事の断面について書いてみます。

在学中は、英語が好きでしたので、英語クラブに在籍し、ジャン・バルジャンの英語劇で私にはとても似合わない牧師役をひたすら熱演（？）したことが思い出されます。主役のジャン・バルジャンを好演した杉山君、とんかちをもって舞台作りに励んでくれた裏方の佐藤君、元気でやっていますか。

鶴岡の公園の桜、赤川、金峰山（頂上から隣の母狩山に犬をつれて登頂に成功した末、迷い子になってしまった。大平野、月山の雄大さ。それらの美しさを思い出します。

さて、現在進行形である私の弁護士業務は、依頼人のために他と交渉したり議論する機会が多いのですが、相変わらず国選事件の刑事法廷に立つと、文化祭の時、英語部員によって行われた英語劇に出演したときのような熱い思いが湧いてくるのを感じます。

民事事件も扱いますが、小さい頃から海外の国々に関心のあった私は、在日外国人の基本的人権や在留生活上の法律相談と擁護活動に従事しています。今の日本には、アジアから出稼ぎ目的で来日する外国人が急増し、複雑な社会問題を提起しています。バブル期には、特にキケン、キツイ、キタナイという言葉に表される「3K」職業に従事して、労働災害事故に遭い死傷したり、後遺症を負う外国人の救済活動にもあたり、最高裁判所に外国人への損害賠償を日本人と平等にする様、求めて上告するなど、いつの間にかライフワークとなったようです。

仕事を通して感じることは、日々相談に訪れる人々の国籍や人柄が自然の持つ色と同様に彩り豊かなことです。少年期の私は故郷の自然の恵みに囲まれて成長し、それと「共生」してきたような気がします。この共生体験は、国際色豊かに、外国人に囲まれて相談を受ける光景と相通じるものがあるような気がすると思っております。

心の中にこんな思いを抱きながら、平野と山、川、海が共存する庄内の自然を思い出します。

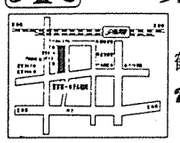
祝　第25回　東京鶴翔同窓会

創造
新時代
TUSUKEN
鶴岡建設株式会社
本　社・山形県鶴岡市泉町5番41号 〒997
Tel：0235-22-4511(代)
Fax：0235-24-3240
山形出張所・山形市東青田4丁目9番6号 〒990
Tel：0236-35-4720 Fax：0236-35-4720

村田敏総合法律事務所
弁護士 村田 敏（鶴岡南高77回 慶大卒）
≪取扱業務≫
民事事件（交通事故、借地、借家、相続、各種損害賠償等）
刑事事件、外国人事件（入国・在留資格、国籍等）
その他、一般の法律相談に応じます。
〒160 東京都新宿区新宿1－30－6　御苑イキビル3階
TEL（03）3352－5941（代）

不動産なんでも相談コーナー
首都圏・庄内地方 他
株式会社 ふるさとホーム
代表取締役 山科勝男（48回）
三川町横山出身
東京都練馬区東大泉2-25-12
TEL 03－3978－1151(代)

自動車シートカバー・イスカバー・カーテン・医療用シーツ
注文製作専門
大成商会
代表者 本間章介（58回卒）
〒104 中央区入船1-4-3 電話3551-1895(代) FAX 3551-1936

東京第一ホテルチェーン
東京 第一ホテル鶴岡

鶴岡市錦町2－10
☎鶴岡(0235)24-7611(大代)
FAX 24－7621 駐車場完備1,000台

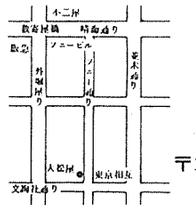
大澤税務会計事務所
税理士 大澤榮造（昭和17年・50回卒）
事務所 〒171 東京都豊島区南池袋2-8-18 コーポ高砂602号
電話(03)3989-0526(代) FAX(03)3989-0570
自宅 〒176 東京都練馬区平和台1－31－14
電話(03)3937-1208

祝　第25回　東京鶴翔同窓会

加藤法律事務所
弁護士 加藤次郎（62回）
〒160 東京都新宿区左門町6番地10号　渋谷ビル3階
電話　03（3559）9377－8～9
FAX　03（3359）9160

輸出入・国内販売
KATRI BUSSAN CO., LTD.
KATRI FAR EAST(H.K.)LTD.
香取物産株式会社
代表取締役 上野 識（52回）
東京都千代田区神田鍛冶町3－4－2
TEL：03－3256－9581(代) 神田東洋ビル
FAX：03－3258－1430，1440

郷土料理
おばさ
大内キク（酒田市出身）
東京都中央区銀座1－4－10
大内ビル(実業之日本並び)
電話 03－3561－6341・6466

手打そばと炭焼き
OHMATSUYA
大松屋

〒104 中央区銀座6－5－8 エルドールビル
電話　03－3571－7053

鶴翔同窓会総会のご盛会をお祝い申し上げます。
株式会社 ホンマ電機
代表取締役 本間俊三
〒228 相模原市上鶴間1－11－1 TEL 0427－46－1616(代)
昭和38年　鶴工卒　中央大学(理)温海

スキースクール 蔵王スキー場に開校して26年目
社団法人 日本職業スキー教師協会 公認校
(有)ZAO フライツァイト シーシューレ
〒228 相模原市上鶴間841－5
TEL 0427－45－6699
校長 土岐良次（52回卒）
（ドイツスキー教師連盟名誉教師）

平成六年度のこと

鶴岡市長（第57回卒）
富塚陽一

東京鶴翔同窓会の皆様、こんにちは。いつも郷里のことに心を配って下さり、ご支援を戴いて、本当にありがとうございます。そして相変らずのご無沙汰をいたしたままで、申し訳ありません。そして「今年は何とか総会に伺わねば。されどきっちり公約もできないか。」などと思いながら書き出しました。

まず、阪神淡路大震災について、逝去された方々にご冥福を祈り、また被災された方々の一日も早いご回復、復興を祈念いたします。鶴岡でも、多くの市民の善意による義捐金や援助物資を送り、復興要員を派遣するなどしてきましたが、本当に人ごとではありません。とくに酒田沖が要注意地域だなどの話もあり、今年は、津波対策を重点に万全の策を講ずる積りです。

こんな本年のスタートでしたが、鶴岡の昨年を振り返りますと、喜んで戴けそうな話題が結構ありました。まず去年の十月一日は市制施行七十周年記念日で、その前後半年は、市民の皆さんの活発なご活動で、色々な催しが盛んでした。戦時疎開をきっかけに友好都市盟約を結んだ江戸川区とは、とくに女性コーラスの方々をお招きして、交響曲第九の合同合唱祭を開催したほか、疎開五十周年を記念する感激的な交流ができ、ご縁は一層密接になった感じです。このことは、去年の暮に朝日テレビ系列で全国放映され、ご覧になった方もいるでしょう。国際交流活動も評価され、自治大臣の『世界に開かれた先端的まち』表彰、運輸省の国際交流都市指定（全国四十都市）を受けました。また今年の宮中歌会始で、市の上清水の大滝市太郎さんの詠進歌『紙切れを幹に押し当て歌しるす、山人われに春は来にけり』が入選十首の中に選ばれ、本当に名誉なことでした。スポーツでも賑かで、鶴工の甲子園出場など、画期的な年でした。

鶴岡には本当に底力があると思います。楽しみです。よくよく考えながら、この楽しみがさらに膨らむように市政に励みたいと思っています。今年の二月、丸谷才一先生と江戸川区長の中里喜一さんを名誉市民に推戴しました。鶴岡だからできることでした。

皆様の一層のご健康とご活躍を心から祈る次第です。

祝　第25回　東京鶴翔同窓会

つけ物処
手造りの味 本長
〒997－11
山形県鶴岡市大山1丁目7－7
TEL 0235（33）2023
FAX 0235（33）0878

新本館「楽山楽水」オープン―全館150室・900名様
政府登録国際観光旅館（登録旅館第159号）
山形県・あつみ温泉
萬国屋 ばんこくや
〒999-72
山形県西田川郡温海町湯温海丁1 TEL 0235(43)3333㈹
TELEX 8744-72 FAX 0235(43)2277

孟宗と梅林の里　湯田川温泉
日観連 たみや旅館
代表取締役会長　今野民蒲（39回 旧名 誠）
代表取締役社長　今野悦郎（66回）
常務取締役　今野睦子（71回 旧姓 沢井）
〒997-07 鶴岡市大字湯田川乙15 TEL(0235)35－3111(代)
FAX(0235)35－3116

孟宗と神楽の里　山頭火の宿
全館改装オープン4月21日
政府登録 国際観光旅館 ホテル みやご
〒997-07　鶴岡市湯田川温泉
TEL 0235－35－2666　FAX 0235－35－3710

縦の糸・横の糸

実行幹事（第67回卒）
澁谷昶明

一、縦の糸

門野先生から東京同窓会の発足をお聞きし、毎年出席して、早くも二十数年になる。

初期の幹事は、田倉、梅津、阿宗、野崎、中村、松本などの諸氏で、私も幹事として働いた。

本部の酒井会長の歯切れのよいご挨拶や、中村先生にもお会い出来、更に近年加藤副会長、菱谷さん、菅原良雄さんにも懇意にしていただいている。

十五年ぐらい前から、総会の準備、会報、広告などの一切を卒業回数の末尾毎で持ちまわりになった。会員数も増え、会報のページも広告も三倍になったが、我々の年次は、出席者の中で依然若い方から六分の一に位置している。今年は諸経費をリストラし、会費を安くしたので、同年代および若い年次の方々もぜひご出席下さい。

二、横の糸

同期の内、関東地区には約三割がいる。丸山雅一君は医博、ガン研の検診所長である。我々も彼の話を熱心に聞く年令になった。佐藤彰君は工博、科技庁金属研部長である。

庄内弁だった仲間も世界を相手にしている。佐藤堅一君は外資系証券会社の幹部、寺島成晃君は米国勤務を、渡部衛君はシンガポール駐在を体験した。私自身も化学会社で合弁会社を担当し、毎年欧米へ行く。世界の文化、歴史、商習慣の違いを感じる日々である。

実業界には、さらに、加賀山君（京王電鉄）がいる。富樫秀、板垣、本山君は自分で会社を興した。また同期会では柔道の服部、寺島義二君も常連である。カラオケは佐藤登（東芝）、粕谷（教員）君がプロ級である。

女性も、劇団もやっている稲垣（三浦）さん、物産で元英国駐在の榎本さん、物静かな金子（田林）さん等々。

次の年次では渡部洋、井上史雄君、佐藤姉妹（姉の冠木さんは開業医）も総会に見える。

本間文祐氏の発案で柔道部東京ＯＢ会も発足し、宮崎忠氏（警視庁）をはじめ十数名集まる。佐藤行那、坂田敬一君は柔道家として、鈴木伸夫君はビジネスで成功した。

今年も、これら多士才々の諸氏と、ぜひお会いしたい。

祝　第25回　東京鶴翔同窓会

寒河江法律事務所
弁護士 寒河江孝允（70回生 S38年卒）
さがえたかよし
〒100 東京都千代田区霞が関3－7－2 UBEビル5階
電話　03－3502－0882

奥山歯科診療所
奥山輝美（67回卒）
〒999-66 山形県東田川郡立川町狩川山居63-3
電話　0234（56）2055

胃腸科・外科・眼科・放射線科
冠木医院
院長 冠木徹彦　副院長 冠木敦子（68回卒）
〒360 埼玉県熊谷市本石1－128（一番街）
☎(0485)21－1106

不ニビル管理株式会社
不ニホーム株式会社
代表取締役 板垣正美（67回卒）
〒151 東京都渋谷区千駄谷5丁目20番12号
TEL 03－3354－2327

orion
代表取締役社長
鈴木伸夫
オリオンフード株式会社
東京都調布市つつじケ丘3-30-1 ハイツ鹿嶋2F
TEL 0424(83)6257 Fax 0424(83)6207 〒182

一戦中派の青春回顧

代表幹事　菱谷　清（第47回卒）

青春を「夢や希望に満ち活力溢れる時期」と定義すれば、私の青春は旧制鶴中時代と、続く海兵時代から太平洋戦争の終結迄に凝縮される。私は中学五年二学期で中退、昭和十三年十二月海軍兵学校に入学、開戦直前に繰上卒業し少尉候補生となりそのまま参戦、二十年八月の終戦を迎えた。終ってみれば、齢二十三才、同期の桜四三二名のうち残った者は一五一名に過ぎなかった。この時代を戦後、暗い青春という人が多い。主観的ではあるが価値観・歴史観が大きく変っても私にとっては、悔いのない素晴らしい青春であったと確信している。その軌跡の断片を愛情を込めて回顧したい。

先づ中学時代。本当に素晴らしい友人に恵まれた。市原・渡辺(真)・本間(博)・小松(田村)・菅原(謙)・三井（以上故人）加藤(祥)の諸兄である。共に進学の夢を語り励まし合い心を許した友であった。特に三井健君は音楽志望であったが、私が江田島に旅立つ前、私を自宅に招き海兵の校歌「江田島健児の歌」を自らピアノを弾じ歌ってくれた。温い心遣いは生涯忘れられない。

兵学校時代。厳しい軍事教育を連想しがちであるが普通学（高等数学・外国語・理化学・精神学等）が意外に多かった。又校内生活は分隊（各学年から均等に十名前後配分混成）の自主自治に委ねる教育方針のため、自由で自己啓発の場との感が強かった。最上級生の躾教育は厳しく、戦後の社会生活で私の思考行動の規範となった。

軍人である前に紳士であれという伝統的教育が根付いていた。

戦争中。私は半年の候補生を戦艦扶桑で勤務した後は終戦迄全期間潜水艦勤務に終始した。潜水艦の乗組員は艦長から一兵に至る迄一連托生の運命共同体で和気藹々、一つの家族を成していた。作戦行動は多岐多方面に亘り、死に直面したことも三回経験した。人間魚雷回天を搭載しパラオのコツソル水道に三基発進させた作戦は断腸の思いであった。同期の潜水艦乗り八二名中六五名が散華していた。純粋な気持で国難に殉じようとした私の青春に悔いは無い。

故郷慕情

大塚　忠（第57回卒）

勤務の関係で約10年間岐阜県の中津川市に住んだ。そこは島崎藤村の生れ故郷の馬籠（長野県）の近くで、その馬籠に住む人々は生活の利便さを求めて中津川市に合併しようか、それとも長野県側に留ろうかで争った時があった。やはり藤村は信州でなければという思いがあったのだろうか、今は長野県で納っている。その馬籠の藤村の生家跡に藤村記念館がある。団体の観光バスのコースになっているので訪れた人も多いと思うが、入口正面の白壁の中央の額に

「血につながるふるさと
心につながるふるさと
言葉につながるふるさと」

と格調高く書かれているのが印象に残っている。よい故郷や幼なじみの友人を持つことは人生を楽しくしてくれる。勤務の関係で私の長男は小学校を三度も変っている。或る時「お父さん、僕の故郷はどこなの？」と問われたことがあったが、その時は「今迄住んで来たところが故郷だよ」と言ったものの、何だか子供にすまぬことをしたような気分になった。

「鶴翔」第22号に笹原徹氏がいみじくも記していたが「大山駅を通って胸をわく〳〵させて鶴岡駅に着くのが私はすきです」に全く同感です。眺めていると次第に子供の頃見慣れた形の金峯山になったところで鶴岡駅に着くのが何とも良い。小学校の校歌に「東に月山南に金峯」（土井晩翠作詞）とあったのを思い出す。

母が老いた為鶴岡を去り仙台で姉と一緒に暮すようになったら、急に鶴岡がずっとはるか遠くなってしまった気がした。しかし同級生の富塚市長が善政を敷いていて人気が良いのでわが故郷はまだ〳〵健在であると意を強くしている。富塚君にはもっと長く市長の座に居てもらい鶴岡市を一層良くしていただきたい。故郷になじみの薄いわが子供達に親父の故郷鶴岡は良いところだと思ってもらいたいものである。

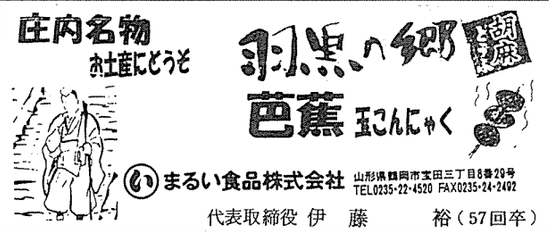
最近食事療法の仕儀になり食物のこだわりが一層強くなって来た。食材の豊かな庄内の食物が無性に恋しい。藤村の言葉の最後に「舌につながるふるさと」をつけ加えたいと思う。

祝　第25回　東京鶴翔同窓会

限りなく極上の肌を創造する文化の技
—シルク—
松岡機業株式会社
会長　酒井忠明（43回卒）
社長　田中尹（57回卒）
〒997 鶴岡市大字大宝寺字日本国223－5
TEL 0235－22－2404　FAX 0235－24－6368

木製家具、建具、製造、販売
株式会社　小野寺家具
代表取締役　小野寺昭治（57回卒）
店舗　鶴岡市宝田3丁目13－14　電話 0235(22)2368
工場　鶴岡市三光町10－21　電話 0235(24)1235

池上歯科診療所
池上義男（57回卒）
〒170 東京都豊島区駒込1－28－14
TEL 03－3941－8839
ミグルシイ　ハワミガク



伊藤耳鼻咽喉科医院
伊藤克彦（57回卒）
鶴岡市馬場町7－39　☎(0235)22－2095

榎本歯科医院
榎本孝（57回卒）
〒997 鶴岡市宝町10－21
TEL 0235－22－1067

祝　第25回　東京鶴翔同窓会

和洋紙・茶　卸・小売
食品・酒類
株式会社　笹原商店
取締役社長　笹原桂一（57回卒）
本店　鶴岡市本町1丁目9-29　電話 0235(24)1255　FAX 0235(25)2233
営業所　酒田市本町3丁目11-25　電話 0234(26)2345　FAX 0234(26)0010

宇部興産株式会社
専務取締役　加藤五郎（57回卒）
東京都世田谷区尾山台3－4－6
TEL 03－5706－9507

小糸工業株式会社
取締役東京総務本部長
五十嵐修二（57回卒）
東京都港区高輪3丁目5番23号
☎03－3443－6171

サカタ歯科
横山嵩（57回卒）
松戸市小金原3－16－12
TEL 0473-43-7320

医療法人　青陽会
小林歯科医院
小林英彌（57回卒）
鶴岡市本町1－6－29
TEL 0235－22－0088　FAX 23－4488

第25回東京鶴翔同窓会

ご来賓

鶴翔同窓会	副会長	中村昭太郎	東京亀城会	常任理事	五十嵐昌二
〃	前事務局長	五十嵐文夫	〃	事務局次長	堀　修二
鶴岡南高校	校長	佐藤　多市	紫雄会（酉商）	東京同窓会長	伊藤　陽吉
鶴岡市長		富塚　陽一	〃	同事務局長	米山　昌士
如松同窓会	東京支部長	荻生万寿子	鶴岡市東京事務所	所長	後藤　重好
〃	同副支部長	渡部　勝子	仙台鶴翔同窓会	事務局長	小池　信吾
如蘭同窓会	関東支部長	菅原　勝子	荘内日報	東京支局長	青柳　恵一
〃	事務局	田巻　和子	ご出演	シャンソン歌手	佐藤由紀子
鶴工城畔同窓会	関東総支部長	三田村欣信			（78回卒）

（敬称略・順不同）

出席者名簿

33回	遠藤　匡輔	45回	茨木　　廣		西海　哲雄		菱谷　岩雄
	中川　重男	46回	工藤　康雄	51回	久保内政一		平野　成士
	広瀬　定治	47回	佐藤　安男		久米井安雄		五十嵐藤一
35回	広木　護郎		佐藤　勇三		斎藤　　正	54回	阿部　久吾
36回	海老名五郎		佐藤　重俊		旅河　正美		桜井　守雄
38回	小林　幸輔		鈴木　重臣		高木　　有		佐藤　良三
	成沢　　寿		高木　正雄		中村　信雄		佐藤　英二
39回	水口武三郎		菱谷　　清		松村　謙二		佐藤　正英
	渡会　正三	48回	阿宗　　實	52回	・上野　　識		渋谷　松生
40回	板垣　正作		・後藤　俊夫		尾形　昌夫		富樫　泰教
	斎藤　茂雄		田中武次郎		佐藤　　隆		中田　孝次
42回	若木　次郎		宮崎　富哉		佐藤　昭一		松村　　正
	佐藤　　毅		宮村　　巌		菅原　隆輔		渡部　敏雄
	佐藤　忠一		渡会　春雄		・土岐　良次	55回	植木　清哉
	田中　　浩		・山科　勝男		堀井　四郎		菊池　安行
	高橋　敬道	49回	五十嵐　晋		三矢　正且		和田　　晶
	伊藤啓五郎		江部　悌三	53回	阿部　靱男	57回	岩下　重郎
43回	五十嵐　忠	50回	・大澤　榮造		叶野　七郎		大塚　　忠
	水野　重広		小沼　　博		斎藤　吉郎		今野　　昇
	富樫　常夫		斎藤　弘義		富樫　俊彦		斎藤　欣彌
	三井　広弥		菅原　藤夫		成田　辰美		斎藤　　正
44回	鈴木　弘二		真田　秀春		山本　昌美		佐々木睦雄

	志賀　清彦		佐藤　啓輔		加藤　有紘		太田　司郎
	重山　英明		相馬　和秀		宮崎　　忠		尾形　文子
	菅原　良雄		佐藤　正吾		澤井　俊弥		椎名　和子
	鈴木　雄三		・福井　　博		足達　宮子		・寒河江孝允
	細井　地久		鳥海　秀介		渡辺美智子		佐藤　俊次
	野口　祐三		山中　昊吉		丸山　綾子		地主　忠夫
	丸谷　錦吾		村木　恢宣		三浦　信也		芳賀　俊郎
	松本　孝敏	62回	稲泉　一彦	66回	本間　文祐		細野　美保
	村上　英二		猪股　義敏		安野　正紀		山口　秀隆
	槙　　英輔		奥山　　綏		三矢　正士	73回	富田　チエ
	秋野　謹也		奥田　文夫		水口　武二		平山　静夫
	川上　　昭		・加藤　次郎	67回	・板垣　正美		嶺田新太朗
	佐藤　正敏		岸井　　進		榎本　美子		渡部　逸郎
	五十嵐重朗		杉山　真司		大沼　順耳	75回	丸田　孝明
	稲津　　淳		三浦　五八		植木　克彦	77回	梅津　準士
58回	奥田　隆男	63回	石塚知久美		粕谷　紀夫		・村田　　敏
	窪田　　騰		榎本　　堯		加賀山忠男	78回	佐藤　　道
	笹原　恒弥		小野寺　洋		金子充千子		田中　光子
	佐藤　　誠		大滝　恒雄		佐藤　堅一		若松　伸子
	地主　幸右		久保　　誠		佐藤　幹生	80回	遠藤　　徹
	諏訪　　満		鎌田　喜子		渋谷　昶明		・原田　敏美
	匹田　　誠		桜井　文子		寺島　成晃	85回	大泉　　正
	・本間　章介		諏訪　　浩		寺島　義二		清水　　守
	渡部　瑞夫		外池　連子		・富樫　　秀		今井　洋一
59回	阿達　周策		中村　君子		服部　　稔		鈴木　康夫
	佐藤　　大		平石　　玲		本間　慎二		仁平　則行
	松本　直明		本間　　隆		丸山　雅一		土田　庸夫
60回	阿達　富美		本間　正幸		渡部　　衛	89回	奥泉　久人
	井上　順子		三浦　孝英	68回	渡部　　洋		
	菊地　俊哉		斎藤　　彰		佐藤　久喜		
	鈴木　康生	64回	榎本　克弘		本間　敬士		
	豊満　郁子		小花　吉彦		伊藤　信一		
	野澤　良治		工藤　国捷		伊藤海記男		
	前橋　　秀		鳥海　元晴		庄司　　功		
	茂木　　勲		永澤萬里野		荘司　保治		
61回	五十嵐道範		三浦　計治	69回	・和田　英光		
	菊地　晴子	65回	阿部　文治	70回	五十嵐房夫		